

# The Akita University Post



Wednesday, April 3, 2013 新入生歓迎号

TAKE FREE

発行 AUP秋田大学報道局(学生新聞サークル) 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 mail: aup@live.jp

印刷 有限会社三浦印刷

## 入学おめでとう

### 授業を自分で選ぼう

いよいよ始まる大学生活。大学の授業にも関心があることでしょう。そこで我々AUPメンバーが過去に受けた授業を紹介します。  
(掲載は主題別科目・学部、学科を問わず選択が必要な科目のみ。本年度開講の有無などは要確認)

#### 秋田の歴史・城下町を歩

古い地図を参考に、秋田の城下町がどのように建設されたのかを学ぶ。最後の講義では実際に町を歩いて、城下町の名残を見て回る。テレビ番組「フラタモリ」のような講義で、歴史に詳しくない人でも楽しめる。  
日本語リテラシー・表現力

この授業では、心で思っていることを会話で相手に伝える技術を学んでいく。文章では書いても、口に出してみてもなかなか思うようにはいかない。人と話すのが苦手な人ほど、ぜひ受講してほしい。  
医学と健康III・加齢と保健医療

加齢に伴う身体的精神的变化、加齢と保健医療の関わりを学んだ。将来、自分の老後について考えさせられることが多い。寂しい老後を送らないためにも、今からやっておくべきことはたくさんあるかも。  
食と健康・栄養の分子生

#### 物学

摂取した栄養素がヒトの体内でどんな役割をしているか? 遺伝子との関係をも基礎レベルから詳しく学ぶことができる授業。私は授業で教わる、食生活のために必要な知識を聞くのが好きだった。生化学や栄養学に興味がある人はおススメ。  
自然環境と資源I・地球環境と化学元素

地球環境における化学物質の分布と生体内での機能、環境影響を学ぶ。田沢湖の水質汚染など秋田の身近なことから、最近話題になっている中国の産業発展に伴う公害の



話まで内容は幅広い。化学を履修していなかった人も、気軽に楽しめる授業だ。  
人間関係論I・対人・対話・対応

この授業では私たちが取り巻く家族や友人などといった関係について再考し、対人スキルについて学ぶ。人間関係について考えることは、人生をよりよくするのに必ずや役に立つであろう。特に、コミュニケーション能力を向上させたい方には是非おススメしたい授業である。  
多文化間交流論・異文化コミュニケーションの実践

ゲームや討論により異文化交流を図るもので、能動的な参加が求められる。他大学との合同合宿もあり、夜中まで中国人、韓国人の学生と東アジア情勢について議論したのが思い出深い。日本人学生は私一人だったので、もっと積極的に参加してみてもどうだろうか。  
(写真提供・教育文化学部総務担当)

#### 春になり、何か新しい

春になり、何か新しい事でも始めようかと思ってしまう。冬の秋田を過ごしていると特にそう感じる▼昨年度、私たちAUPが始めたことの一つに広告欄の設置がある。秋田市内の企業や事業所へ、広告営業に伺っているのだ。しかし、広告集めは想像以上に難しい。仲間と共に一日中歩きまわっても、目標の金額に遠く及ばないことがよくある▼そんな中、以前ある企業の部長さんから「君が熱心だったから、お願いすることになりました」と言われたことがあった。この言葉から、自分たちの熱意を伝えることの大切さを教えてもらった▼広告営業をしていくと、日々の業務が忙しいにもかかわらず、学生の話を耳を傾けてくださる地元企業の懐の深さにも気づくことができる。決して景気が良いとは言えない秋田だが、まだまだ企業や経済に底力があると信じている▼本号も県内で教育事業を行っている企業から、単独でご支援をいただいた。受験でお世話になった、新入生も多いのではないだろうか▼大学生は地域を支えられているのだ。広告を出しても恥ずかしくない学生新聞となるよう、今年度も努めていきたい。(濱田俊太郎)

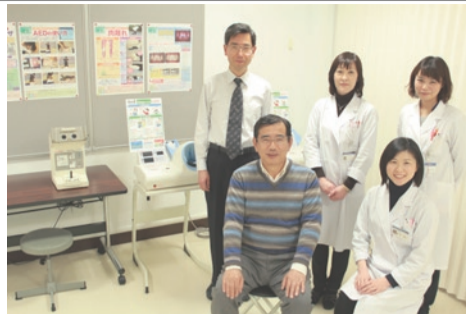
**AUP 新入部員募集中**

一緒に学生新聞をつくってませんか?  
写真やデザイン、営業まで活動範囲は無限大  
連絡は→ [aup@live.jp](mailto:aup@live.jp) まで

ブログやってます  
(ツイッター・ラジオも絶賛更新中)

# 先輩が調べてきました。 キャンパスライフのABC

## 保健管理センター 学生相談室



ところがあるから」藤原さんはこう呼びかける。同センターでは医師や看護師(写真)のほか、非常勤のカウンセラーが学生の相談に応じている。また、メールによる相談も受け付けているという。

悩みの有無に関わらず、眠れない、食欲がわかない、体調が優れないなど身体に不安を感じたら、気軽に訪ねてみてはどうかだろう。(村田悠輔、島山昂大)

### ◆◆◆

- ◆ 保健管理センター メモ
- ◆ 医師が常駐し、無料で診察してくれる
- ◆ 応急手当用の少量の薬を無料で出してくれる
- ◆ 身体測定用の機器を自由に利用できる
- ◆ 学内で利用できるWEB問診サービスがある
- ◆ カウンセラーとの相談は予約制

手形キャンパスにある保健管理センターでは、「学生相談室」を設けている。学生が持つ悩みの傾向と、学生相談室の詳細を同センターの看護師である藤原さん、安保さん、高谷さんに伺った。学生の悩みはその学部、学年によってさまざまである。その一つとして「孤立」がある。高校までと違って大学にはクラスが無く、友達をつくる機会が少ない。新入生はこうした環境の変化になかなか適応できず、孤独感を持つことも多いという。自分の悩みを誰かで話せる学生もいれば、話せずためこんでしまう学生もいる。「一人で抱え込まないで。大学には相談できる

## 英語自主学习 The ALL Rooms

学生支援棟の二階「The ALL Rooms」と彩られた大きなドアを越え、部屋に入ると学生スタッフが迎えてくれる。現在、学生スタッフは10人程で、そのうち海外からの留学生が3人在籍している。

学生スタッフの三浦景香さん(教育文化学部4年)は、「学生が自主的に目的を持ち、学習することをベースに、それをスタッフがサポートするのがAll Roomsの大きなシステムです」という。

部屋には自主学习をするための教材が充実している。TOEICや、留学のためのTOEFL、教員採用試験などの資格向けの参考書のほかにも、海外下

ラマのDVD等、英語に親しみやすい環境が整えられている。

自主学习以外のコンテンツも充実している。まずスタッフと相談して、学生の英語レベルに合わせたプランを提示してもらおう。プランは段階的に分けられており、スタッフと交流しながら学ぶことができる。難易度はかなり易しいレベルから用意されており、たとえ行き詰ったとしても、スタッフが丁寧な対応でヒントを与えてくれる。

定期的にイベントも開催しており、昨年は、学内の留学生を交えた英会話サークルを週一回開催している。このように自主学习に留まらず、英語を使ったコミュニケーションを留学生と楽しむことができるのも同システムの特徴だ。

三浦さんは「英語を学んでいるユーザー同士での交流もできるので、少しでも学んでみたいと考えているという人気弁当。食べごたえ抜群のジュシーカルビ!」

ガッツリ系肉野菜丼  
男子学生の購入率第一位の重量級弁当。

ほんまでっか丼  
ユニークな変り種弁当。たこ焼きやチヂミが意外とご飯に合う。

メンバーのおススメ  
からあげ花弁当  
みんなが大好きなからあげが盛りだくさん。

かき揚げ丼  
かきあげのタレがご飯にかかっていると、ペロリと食べられる。

フルコギ春雨丼  
一つの弁当に具材が盛りだくさん。

たかさんの品揃えがありますが、自分のお気に入りのお「あつこ弁当」を見つけてみてください!

(齋良次、久米真梨奈)

(岩佐美希)

パンココの  
あつこ弁当



秋大生のランチといえば、そう「あつこ弁当」! 大学会館内にあるパンココで買うことができる。種類も豊富で、一人暮らしの学生にも優しいお手頃価格。

今回はパンココの店員さんに売れ筋のメニューをきいてみた。また、サー

## 編集後記

今まで使い古してきた参考書を置く時が来た。大学生活が始まるのだ。中には、今まで以上にペンを握りしめる人もいるかもしれない。

これから始まる4年間、6年間は中学や高校で過ごした時間よりも長い。しかし、体感的に言えばそれよりもずっと短い。何もしなくてもあつこという間に月日は過ぎてしまうだろう。というのも、私が体験済みだ。

新入生のみなさん、今しかできないことをぜひしてほしい。旅行に行く、友達と朝まで語り明かす、一日中寝る。もちろん、勉強を精一杯することもいい。大学は自分から動かなくては何も始まらない。可能性は無限にある。しかし、気付かなかったり、動かなかったりしなければできないことはたくさんある。

そして、今この新聞を読んでいるあなたは、あることに気付くだろう。私たちAUPは新聞を作っているサークルだ。大学に入ってから3年経つと人脈が限られてくる。しかし、このサークルに入ると、普段関わることの無かった人と出会い、刺激を受けることができる。大学生活を楽しみたい人は私たちと活動してみませんか。

(岩佐美希)